

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立富士小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携や授業づくりなどの研究を推進し、一定の成果を得ることができた。しかし、主体的な学び、自分の思いや考えを相手に伝える表現力においては課題も残った。 ・「心の教育」においては、いじめの早期発見・早期対応のため、日頃の見とり、アンケートなどから得られた児童の情報を全職員で共有し、児童は安心して学校生活を送ることができた。また、小中でも話し合いの機会を設け、互いの児童生徒理解が進んだ。 ・早寝早起きなど、望ましい生活習慣の形成に関しては家庭、児童の意識の向上が課題としてみられた。学びの基礎作りとして研究とも絡めながら取り組んでいく必要がある。 ・地域との連携は充実し、様々な体験活動を行うことができた。カリキュラムマネジメントの視点を持ち、教科と体験活動を有機的に結びつけるなど取組の充実と見直しを行っていく必要がある。また、地域情報発信の意味でもHPの充実を図っていくなければならない。
------------------	---

2 学校教育目標	地域を担う夢に向かって伸びゆく富士っ子の育成
----------	------------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 基礎学力の確実な定着と児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業力向上 ② 自他の命を大切に、郷土を愛する心豊かな児童を育てる。（道徳教育・人権教育の充実、小中できめ細やかな児童生徒家庭支援） ③ 心身共に健やかでたくましい児童を育てる。（基本的な生活習慣や学習規律の確立、外遊びの推奨） ④ 地域に信頼される「開かれた学校づくり」の推進。（コミュニティ・スクールの有意義な活用、HP等を活用した地域、保護者への啓発）
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○全校児童の「心の教育」に組織的に取り組めたいという教員90%以上 ○「友達と仲良く遊んだり、声をかけたりすることができた」という児童90%以上 ○学校が「楽しい」「安心できる」と思う児童90%以上 ○いじめの早期発見、早期対応のために組織的に取り組めたという教員90%以上 ●「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校で「いじめ・いのちを考える日」や人権教室に計画的・組織的に取り組む。 ・道徳の授業づくりや、児童への日々の声かけなど「豊かな心」を育む指導の共通理解を図る。 ・自分や友だちのよさを見つたり認めたりできる活動に取り組む。 ・毎月の教育相談・生徒指導協議会において、いじめの早期発見の視点からの情報交換を行ったり、心のアンケートで見られた問題点などの共有を図ったりする場を設ける。 ・児童一人一人の思いに寄り添う学級経営を工夫して行う。 ・児童の実態把握に努め、適切な評価を行う。「ほめる週間」の設定で意識を高める。 ・地域の教育資源や人材等を積極的に活用した「ふるさと学習」を推進し、ふるさと富士町の誇りを高めさせていくとともに、キャリアパスポートの有効な活用を図り、各自の夢をもたせる。 						<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育主任 やさしさ部 やさしさ部 教育相談担当 地域連携担当 キャリア教育担当 カリマネリーダー 教務部 	
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「望ましい生活習慣の形成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」 ○運動への意欲向上と体づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○21時就寝を目標に、9時間睡眠をとるように意識することができたという児童90%以上 ●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○「体を動かすことが楽しい」と答える児童90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健便りや学校・学級だよりを用いた保護者への啓発や、中学部と連携した「すこやか週間」の実践、「生活振り返りカード」の活用により「早寝早起き」の習慣を定着させる ・交通安全教室や日頃の指導により安全に対する児童の意識を高める。 ・体育の授業資料等を教師間で共有し、運動の楽しさに触れられるような授業づくりを工夫する。 ・縦割りグループの活動(なわとび大会)や各学級で県スポーツチャレンジに取り組むとともに、外遊びを推奨する。 						<ul style="list-style-type: none"> たくましさ部 たくましさ部 体育主任 縦割り活動担当 	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナにおいて学校行事に係る時間の見直しを建設的に行う。 ・定時退勤日、マイ定時退勤日の設定とともに掲示物やモニターを活用した意識の向上を図る。 ・年休取得を推進する。(年間14日以上) 						<ul style="list-style-type: none"> 教務部 	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○コミュニティスクール	○学校運営協議会の充実	○保護者及び学校運営協議会委員の学校情報メール加入率100%	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校便り」「学校HP」「学校情報メール」の活用及び学校運営協議会や地域学校協働活動推進本部を核とした連携を強化する。 ・保護者や地域への積極的な情報発信・受信を行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 教務部 学校HP担当 	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--